

【平成25年5月24日】

こまつ水郷2020ネット 事務局通信

(事務局:小松市環境推進課内)



小松市木場小学校の四年生31人が、木場潟の水質と生態系の保全を目的に設置された消波堤内に、水草のアサザを植え付けました。

木場潟の水質浄化・生態系復活に取り組む「木場潟再生プロジェクト」の土田リーダーらが指導を行い、ステンレス製の網にアサザの苗を結びつけて同プロジェクトのメンバーらにより消波堤内に沈めました。

同プロジェクトの顧問で「木場潟水草を守る会」の大井会長が、潟内の余分な栄養を吸収するアサザの作用を説明しました。

植え付けたアサザは地下茎を伸ばして生長し、夏から秋にかけて黄色の花を咲かせます。



主催: 木場潟再生プロジェクト